

新美術新聞

The Shin Bijutsu Shinbun — Since 1971

9/11 500円税込
SEPTEMBER 2020

(株)美術年鑑社
発行所：〒101-0054 東京都千代田区
神田錦町3-3 電話：03-3295-1635
発行人：油井一人 編集人：油井一人
E-mail: shinbun@art-news.co.jp

開館4年——3D映像から旋回する巨大立体まで——進化する天空美術館！

The Descent of the Muses - Renaissance

美神降臨

《復活》の時



《朝陽富嶽玉取り籠 不二法門》
2019年 初公開 210X3300X2020mm

インタビュー
INTERVIEW

絹谷幸二

きぬたに こうじ

(文化功労者、日本藝術院会員、
東京藝術大学名誉教授、
独立美術協会会員)



コロナ禍の時代——
維摩経「不二法門」——
双眼の見方とは？

「世界の建築トップ20」にも選ばれた、大阪湾を一望する梅田スカイビル27階に4年前、個人美術館として堂々オープンした絹谷幸二天空美術館。コロナ禍のただ中の大阪で疲弊した人心に勇気・創造力を喚起する大規模な企画展「美神降臨《復活》の時」を開催している絹谷幸二氏に今展にかける思いや現況下克服の考え方を聞いた。

——オープンから4年大阪のど真ん中に個人美術館として大規模なワンフロアの芸術空間。観覧会だけでなくイベントやアトリエ開放など進化して、国内外から多くの人が訪れています。

絹谷 天空美術館のテーマの一つは、子供たちと共演することです。子供たちに美術芸術の楽しさ、夢の世界を飛翔する素晴らしさを伝えるのです。ご両親も含め、2〜3カ月に1度くらい、プレスコ画を教え、絵具の混ぜ方、パレットの使い方等、基本的な事はもとより、心を開いて楽しい絵の描き方を伝授しています。子供たちに開かれた美術館活動も重要なことです。

——開館当初から掲げる方針ですね。絹谷 私は15年前から文化庁・日本芸術院が共催する社会貢献事業「子供・夢・アート・アカデミー」の事前授業を計画し、日本全国の小中学校(過疎地や養護学校も含め)へ出向いています。美術の楽しさ、創造力がいかに生きる喜びに繋がるかを教える活動でもあります。



天空美術館を訪ねたブライアン・メイ氏(左)と高橋暁生氏
2020年1月



《祝・飛龍不二法門》2013年 ミクストメディア 194.0×259.0cm

新型コロナ禍 勇気・希望・創造力で克服を

絹谷 突然の来訪で僕は知らなかった。案内した人によると、1時間半もアトリエにも入って熱心に見て、美術館広報担当の高橋君を抱きしめていたそうです。作品に「ビューティフル!、ワンダフル!と連発して「自分の心に強くインスピレーションを与えてくれた」と言ってくれた。3D体験もたいそう気に入っていた。嬉しいですね、前から彼の音

対処しなければなりません。昭和18年生まれの私は、戦争が終わって絵の道に進んでずっと成長してきました。戦後、皆さんが苦勞するところを目の当たりにして、なにくそ立ち上らねば、と小さい子供心に思っていました。今日、大戦以上のコロナということがいま起きています。だからいま勇気と希望、創造力と元氣を持って頂きたい、平和な世界を復活しなければならぬのではないのでしょうか、それが展覧会のテーマ「復活」です。

——「不二法門」とは。絹谷 善と悪、生と死、男と女、水と油など相反する2つの概念は1つのものの部分であるとする維摩経の教えです。今までは男女は別々でした。しかし、現実はずうはななりつつあり、そういう時代が来ています。

絹谷 これまで平面と立体を往還しつつ発表してきました。立体には色彩も付けました。平面と立体を同時に楽しんでいく、もともと境界を自由に超えたいという気持ちもありました。3Dの世界も入れました。自在な考え方や発想の仕方ですね。「不二法門」では動くものと静止するものを、相反するものを同時に見なければいけない。次の時代には絵画制作でもこれが大切な痛感しています。

8月1日(土)〜12月14日(月) 絹谷幸二天空美術館(大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビルタワーウエスト27階) ☎06-6440-3760 火曜(祝日のとき翌平日) 観一般1000円 観10時〜18時、金曜・土曜・祝前日は10時〜20時(入館は閉館の30分前まで)